

令和 8 年 1 月 25 日

AAFC例会

ドキュメンタリー映像（約 54 分）

「クラウス・マケラ ほとばしる情熱」

中村 博

NHK BS プレミアムシアター「クラウス・マケラ ほとばしる情熱」のドキュメンタリー映像を見て、指揮をする姿・演奏を聴いて、今までに聴いたことがない演奏が新鮮に聴こえ感銘を受けましたので、若い指揮者「クラウス・マケラ」を紹介したいと思います。

1996 年フィンランド生まれ。 12 歳からシベリウス・アカデミーにてチェロと指揮を学び、22 歳でスウェーデン放送交響楽団の首席客指揮者に就任した。 これまでにフィンランド放送交響楽団、ヘルシンキ・フィル、ライプツィヒ放送交響楽団など、一流オーケストラと共に演して「数十年に一度の天才指揮者の登場」とも評され、大成功を収めました。

2020 年、24 歳の若さでノルウェーのオスロ・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者に就任、北欧を代表するオーケストラが 24 歳の指揮者を選んだことはクラシック界で大きな話題を集めました。 2021 年からは、数多くの名指揮者の薰陶を受けた名門パリ管弦楽団の音楽監督にも就任し、さらに 2027 年からオランダの名門ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団の首席指揮者への就任が発表されています。

指揮者としては、前例がない若干 20 代前半での一流オーケストラからの高評価と重要なオファーに世界中の音楽ファンから称賛の声が上がっています。

* 日本デビューは、2018 年、22 歳の時に東京都交響楽団を指揮しました。

* 2025 年、6 月にパリ管弦楽団、11 月にはロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団を率いて、来日公演を行いました。

* 映像は、2024 年 4 月 21 日 NHK BS プレミアムシアターより